

令和8年度 第1回士別市中央公民館運営審議会議案

【日 時】 令和8年6月30日（火）午後4時～

【会 場】 市民文化センター2階 視聴覚室

1. 開 会

2. 委嘱状交付

3. 教育長挨拶

4. 職員紹介

5. 委員長挨拶

6. 議 事

（1）令和7年度士別市中央公民館事業報告について

（2）令和8年度士別市中央公民館事業計画について

（3）その他

閉 会

【添付資料】

■令和7年度	中央公民館事業報告	・・・資料1
■令和8年度	中央公民館事業計画	・・・資料1
■令和7年度	中央公民館分館事業報告	・・・資料2
■令和7年度	中央公民館決算報告	・・・資料3
■令和8年度	中央公民館分館事業計画	・・・資料4
■令和8年度	中央公民館運営方針（案）	・・・資料5

中央公民館事業 報告・計画

R 7 実績											R 8 計画			
① 番号	②事業名	③担当	④事業内容	⑤対象	⑥参加人数 実施回数	⑦実績	⑧予算 (千円)	⑧決算 (千円)	⑩予算残 ⑧-⑨	⑪成果・課題	⑫想定 人数/回数	⑬予算 (千円)	⑭前年予算 差⑬-⑩	⑮事業内容
1. 生涯学習推進事業							1,730	985	745			1,587	▲ 143	
(1) 公民館講座推進事業							373	176	197			262	▲ 111	
	中央公民館 公民館講座	中央 公民館	現代社会に即応した各種講座を開催し、既存文化団体の育成や新たなサークルの結成を促進するとともに、市民活動や文化活動を通じて市民交流を図る。	全市民	延べ 94人	①スマートフォン活用講座【学び舎つくも合同講座】(7/24・2名) ②足もとからみる膝と腰の痛み【学び舎つくも合同講座】(12/16・15名) ③親子で参加する公民館講座【26組・63名】 ・クリスマスケーキ作り教室(12/8・10組24人) ・レジンとプラバンで小物作り教室(12/13・10組22名) ・そば打ち体験教室(1/17・8組25人) ・墨絵アート教室(1/24・3組6人)	373	176	197	【成果】 市民の生活や健康に関わる講座を提供できた。 親子で参加する公民館講座では、多くの若い世代に参加していただき公民館に興味を持ってもらうきっかけになったと思われる。 【課題】 一時的な体験活動が主であり、サークル発足に繋がるような講座となっていない。	4講座 60人	262	▲ 111	文化芸能をテーマにした講座を実施予定。
(2) 子ども文化活動推進事業							99	68	31			136	37	
	子ども文化活動推進事業 士別ふるさと体験広場 文化体験コース	中央 公民館	士別市ふるさと体験広場を開催し、子どもに文化や芸術、職業体験等に関する学習機会を提供。 中央公民館主管事業として、地元文化団体等の協力を得ながら、士別市の文化体験講座を開催。 参考:他の事業 社会教育主管「職業体験コース」 博物館主管「自然歴史体験コース」	小学 4～6 年生	延べ 59人 計5回 (1回中止)	中央公民館主管:文化体験コース 年6回 ・木彫り体験(6/21・13人) ・フラワーアレンジメント体験(7/30・11人) ・七宝体験(8/4・14人) ・油絵体験(9/13・11人、10/5・10人) ・吹奏楽体験(11/30→中止)	99	68	31	【成果】 文化芸術活動などの体験を通して、芸術文化の魅力や歴史を学ぶ子どもの健全育成が図られた。 【課題】 ・開催日や開催場所の課題。 ・児童に対する危機管理。	延べ 60人	136	37	【文化体験コース】 全体募集 15名程度・各講座選択制 第1回 7/23 木彫り体験 第2回 7/30 料理体験 第3回 8/6 羊毛工芸体験 第4回 9/5 油絵体験① 第5回 10/17 油絵体験② 第6回 11予定 吹奏楽体験
(3) 高齢者学習推進事業							878	492	386			809	▲ 69	
	高齢者学習推進事業 学び舎「つくも」	中央 公民館	「集い・学び・交流」をとおして高齢者の生きがいづくりを推進するとともに、同世代の広い繋がりを構築することを目的として、基礎講座と自主企画活動を実施する。	60歳 以上の 市民	延べ 814人	・体験コース 10回 ・教養コース 10回 ・くらしコース 10回 計 30回	878	492	386	【成果】 高齢者にとって有意義な学びと交流の機会を提供 【課題】 目新しい講座の提供	延べ 1,000人	809	▲ 69	体験・教養、くらしの2コースを各10回実施予定。
(4) 子どもの学習・生活習慣定着推進事業							380	249	131			380	0	
	子どもの学習・生活習慣 定着推進事業 チャレンジスクール補助事業	中央 公民館	望ましい生活習慣・学習習慣定着を目指して、2泊3日の宿泊体験活動を実施する。 参考:他の事業 社会教育主管「チャレンジ寺子屋」 ※夏休み・冬休み期間中の学習活動を実施	小学 4年生	13人	10/5～10/7の期間、朝日山村研修施設で実施	380	249	131	【成果】 地域人材による子どもの育成を図る事ができた。 【課題】 参加者数の減少	20人	380	0	チャレンジスクールを実行委員会主催により実施予定。 参考:R7実行委員会構成 ・士別市子ども会育成連絡協議会 ・士別市PTA連合会 ・士別市校長会 ・士別市教頭会 ・家庭教育サポート企業 ・一般社団法人 士別青年会議所 ・士別市中央公民館運営審議会 ・士別市中央公民館

中央公民館事業 報告・計画

① 番号	②事業名	③担当	④事業内容	⑤対象	⑥参加人数 実施回数	R 7 実績				R 8 計画				
						⑦実績	⑧予算 (千円)	⑧決算 (千円)	⑩予算残 ⑧－⑨	⑪成果・課題	⑫想定 人数/回数	⑬予算 (千円)	⑭前年予算 差⑬－⑩	⑮事業内容
2. 市民学習自主企画支援事業							229	45	184			0	0	
(1) 市民自主企画事業（マイプラン・マイスタディ）							229	45	184			0	0	
	市民自主企画事業 （マイプラン・マイスタディ）	中央 公民館	市内の各種団体やサークルが、市民 を対象に自主的に企画した学習事業 費の一部を支援し、学習機会の拡大 及び団体等の活性化を図る。	市民団 体等	3団体 205人	①主催団体：ななかまど会 実施月日：4月14日（会員12人、一般9人） 総事業費：17,600円 支援内容：講師謝礼 5,000円 事務消耗品 12,600円 ②主催団体：戦争をさせない2025土別市民集会 実行委員会 実施月日：8月19日（会員20人、一般132人） 総事業費：81,289円 支援内容：事務消耗品 13,552円 ③主催団体：しべつ音楽を楽しむみんなの会 実施月日：10月5日（会員13人、一般19人） 総事業費：25,839円 支援内容：講師謝礼 14,000円	229	45	184	【成果】 学習機会の拡大及び団体等の活性 化に寄与。 【課題】 令和7年度をもって事業廃止				
3. 市民総合文化祭事業							281	268	13			228	▲ 53	
(1) 市民総合文化祭							281	268	13			228	▲ 53	
	市民総合文化祭 中央地区会場	中央 公民館	市民が日常で取り組む文化活動の学 習成果の発表と作品を鑑賞する機会 を提供するために市民総合文化祭を 開催し、市民の文化活動に対する意 識を高め、地域文化の向上を図る。	市民団体 等 小・中・ 高校生	来場者 約1,700 人 R6 約1,700 人	・10/31～11/4 作品展示 23団体・4個人 448点 （R6年度566点） ・11/3 芸能発表 24団体・個人 141人出演 （R6年度91人） ・10/22 小中学校音楽発表会 大ホール ・10/24～11/4 児童生徒作品展示 （共催：土別市教育研究会） 絵画・毛筆など 139点 （R6年度 174点）いぶき	281	268	13	【成果】 文化芸能団体が日々の活動を発表 する有意義な機会を提供。 また、新規団体の参加も見られ た。 【課題】 参加団体の高齢化。	1,500人	228	▲ 53	小中音楽発表会、芸能発表会、作品 展示を予定。

中央公民館事業 報告・計画

R 7 実績											R 8 計画			
① 番号	②事業名	③担当	④事業内容	⑤対象	⑥参加人数 実施回数	⑦実績	⑧予算 (千円)	⑧決算 (千円)	⑩予算残 ⑧－⑨	⑪成果・課題	⑫想定 人数/回数	⑬予算 (千円)	⑭前年予算 差⑬－⑩	⑮事業内容
4. 子どもまちづくり参画事業							223	157	66			296	73	
(1) 子ども議会開催事業							187	157	30			286	99	
	子ども議会開催事業	中央 公民館	中学生を対象とした「子ども議会」を「子ども議会～チャレンジ応援事業～」に変更。 中学生の日常生活や学校生活における身近な課題の解決策を市に発表する形式とし、子どもたちがそのアイデアを実践する中で、より達成感を高めながら自主性を育む学びとなるよう事業内容の充実に努める。	中学生	士中 2人 南中 3人 上中 1人 朝中 2人	市内中学校から8人参加 ・子ども議員任命式 7/1 ・学習会 13回開催 7/1～11/14 ・実践内容 とっとこin士別ウォーク&士別知識 王決定戦（お祭り、クイズ大会、ウォークラリーの合体企画） ・子ども議会実践報告会 11/17	187	157	30	【成果】 子どもたちが自らが、身近な課題を考え、実施することの難しさを学び、次への課題を考える機会と周囲のサポートの大切を実感するなど、子ども議員として参加した生徒の資質向上が図られた。 【課題】 ・実践規模については、昨年度ほど大きなものとはなかったが、内容がイベントとなったため、準備等のため学習会回数も想定よりも多くなってしまった。 また、目的であった子ども議員のみでの実践活動には至らなかった。	10人 程度	286	99	中学生の日常生活や学校生活における身近な課題の解決策を市に発表する形式とし、子どもたちがそのアイデアを実践する中で、より達成感を高めながら自主性を育む学びとなるよう事業内容の充実に努める。 R8予定 8月～11月 ・子ども議員任命式 ・学習会（7回） ・実践（1回） ・子ども議会実践報告
(2) こども夢トーク推進事業							36	0	36			10	▲ 26	
	こども夢トーク事業	中央 公民館	子どもたちが市長、教育長と夢や未来への希望を語り、好奇心・探究心を高め、子どもたちの持つ豊かな可能性を広げる。	上小 児童 南中 生徒	上小 児童 10人 南中 生徒 35人	2/5 上士別小学校 内容:子どもたちが市長・教育長へ夢、生活の中における要望を伝えた。 2/6 士別南中学校 内容:市長・教育長がまちづくりに関する夢を生徒に語り、生徒が自分の願いを市長・教育長に伝えた。	36	0	36	【成果】 子どもの自由な発想によるアイデアを市長、教育長と語り合い、有意義な交流の場とする事ができた。 【課題】 開催時期の調整	2校	10	▲ 26	・2校実施予定 多寄小学校 士別中学校 ・実施時期：12月～2月
5. 団体育成・支援事業							700	550	150			700	0	
(1) 子どもの体験活動の充実と望ましい生活習慣の定着（社会教育課・中央公民館）							700	550	150			700	0	
	子ども会育成連絡協議会補助事業費	中央 公民館	子ども会の事業を推進する士別市子ども会育成連絡協議会に対し、運営事業費の一部を補助する。	士別市 子ども 会育成 連絡協 議会	会員数 853人 小学生 542人 中学生 311人	【士子連の主な事業】 ・第26回しべつわんぱくフェスティバル（約1,500人 5/18） ・子ども会交流会 ・北海道かるた大会出場 ・資金造成カクテルパーティー ・ふれあい広場協力 ・チャレンジスクール協力 ・地区子ども会支援（中央、上士別、多寄、温根別、朝日）	700	550	150	【成果】 子どもたちの健全育成を図る事ができた。 【課題】 単位子ども会の活動停滞	会員数 813人 小学生 512人 中学生 301人	700	0	【士子連の主な事業】 ・第27回しべつわんぱくフェスティバル（約1,500人 5/17） ・リーダー養成研修 ・子ども会交流会 ・北海道かるた大会出場 ・資金造成カクテルパーティー ・ふれあい広場協力 ・チャレンジスクール協力 ・地区子ども会助成（中央、上士別、多寄、朝日）

中央公民館事業 報告・計画

R 7 実績											R 8 計画								
① 番号	②事業名	③担当	④事業内容	⑤対象	⑥参加人数 実施回数	⑦実績	⑧予算 (千円)	⑧決算 (千円)	⑩予算残 ⑧－⑨	⑪成果・課題	⑫想定 人数/回数	⑬予算 (千円)	⑭前年予算 差⑬－⑩	⑮事業内容					
7. 中央公民館分館事業												384	276	108			384	0	
(1) 中士別分館												128	72	56			128	0	
	中士別分館事業	中央 公民館	地域住民の生涯学習活動を推進し、 地域の活性化を図る。	一般	民謡 延べ 69人 計17回 PG 延べ 65人 計7回	・民謡講習会 R7. 4月～R8. 3月 中士別公民館分館内（自治会館） ・パークゴルフ講習会 R7. 6月～R8. 3月 天塩川PG、多寄農村広場 ほか	128	72	56	【成果】 各講座への開催により、中士別地区内の市民交流と親睦に寄与。 【課題】 ・令和8年度をもって廃止予定	民謡 20回 80人 PG 8回 80人	128	0	・民謡講習会(月2、3回) ・パークゴルフ講習会					
(2) 下士別分館												128	75	53			128	0	
	下士別分館事業	中央 公民館	地域住民の生涯学習活動を推進し、 地域の活性化を図る。	一般	PG 延べ 36人 計2回 講習会 延べ 21人 計1回	・広報誌「つながり」 R7. 4月～R8. 2月 13回発行 ・パークゴルフ講習会 6/1(16人) 天塩川PG ・パークゴルフ大会 7/5(20人) 天塩川PG ・しめ縄作り講習会 12/21(21人) 下士別二之宮八幡神社	128	75	53	【成果】 各講座への開催により、下士別地区内の市民交流と親睦に寄与。 【課題】 ・少子高齢化、参加者数の減少。 ・事業実施の停滞。	PG 2回 40人 講習会 1回 15人	128	0	・広報誌「つながり」発行 (月1回発行) ・パークゴルフ講習会及び大会 (6-7月) ・しめ縄作り講習会 (12月)					
(3) 武徳分館												128	129	▲ 1			128	0	
	武徳分館事業	中央 公民館	地域住民の生涯学習活動を推進し、 地域の活性化を図る。	一般	講習会 延べ 70人 計7回	・広報「武徳」 R7. 4月～R8. 3月 12回発行 ・料理講習会 11/14 (8人) ・ストレッチ講座 11/20 (10人) ・ヨガ瞑想体験会 11/20 (10人) ・町民交流会 1/18 (14人) ・物作り講習会 1/23 (8人) ・料理講習会 2/14 (10人) ・卓球ルール講習会 2/25 (10人)	128	129	▲ 1	【成果】 各講座への参加により、武徳地区内の市民交流と親睦が図られた。 【課題】 少子高齢化、参加者数の減少。	講習会 200人 計9回	128	0	・広報「武徳」4月～3月 ・料理講習会 2回(11月、12月) ・研修、講習会 3回 ・町民交流会 2回(8月、1月) ・スポーツ交流会 2回(2月)					

分館名 中士別分館

[illegible]

分館名 下士別分館

[illegible]

分館名 武徳分館

事業名	新規 継続	主催後援	実施 期日	会　場	対　象	回数	参加 人数	決算 (千円)	事業概要等
広報「武徳」の発行	継続	武徳分館 武徳自治会	４～３月 各１回	—	—	12	—	—	武徳町内の情報発信を目的に発行
事務消耗品購入	継続	—	—	—	—	—	—	36	分館事業用プリンターインク購入
料理講習会	継続	あじさい会	11月14日	武徳会館	一般	1	8	15	あじさい会メンバーの交流を図るための料理講習会 講師：石橋房枝、山崎さくら
ストレッチ講座	継続	スポーツ愛好会	11月20日	武徳会館	一般	1	10	15	冬季のスポーツ活動を開始する前にストレッチでけが防止と運動能力の向上を目指す 講師：黒原美樹、鈴木直美
ヨガ瞑想体験会	継続	女性部	11月20日	武徳会館	一般	1	10	15	ヨガと瞑想で日常のストレス軽減と感情の安寧を図るための体験会 講師：涌井久美子、谷幸恵
冬季町民交流会	継続	武徳分館	1月18日	武徳会館	一般	1	14	0	麻雀、ゲーム大会
物作り講習会	継続	あじさい会	1月23日	武徳会館	一般	1	8	15	日常使える容器を手作りする楽しさを体験 講師：佐々木陽子、平野知佳子
料理講習会	継続	女性部	2月14日	武徳会館	一般	1	10	15	地元産の大豆と麴を使った地産地消の手作り味噌を仕込む
卓球ルール講習会	継続	スポーツ愛好会	2月25日	武徳会館	一般	1	10	15	冬の運動不足の解消と町民の親睦を図る卓球活動を充実させるため、ルールを再確認
							合計	126	

令和 7 年度 士別市中央公民館 決算資料

(単位：円)

科目	R7当初予算	R7決算額	増 減	増減理由
■ 公民館講座推進事業費	373,000	176,400	196,600	
・ 税子で参加する公民館講座 (4回)				
・ スマートホン活用講座 (学び舎つくも合同講座)	373,000	176,400	196,600	当初予算より実施講座数減 (予 16回 → 決 6回)
・ 足もとから見る膝や腰の痛み (学び舎つくも合同講座)				

科目	R7当初予算	R7決算額	増 減	増減理由
■ 子ども文化活動推進事業費	99,000	68,402	30,598	
士別ふるさと体験広場文化体験コース	99,000	68,402	30,598	実績による残

科目	R7当初予算	R7決算額	増 減	増減理由
■ 高齢者学習機会推進事業	878,000	492,218	385,782	
学び舎「つくも」	878,000	492,218	385,782	自主企画講師謝礼の残 (予50回→実10回)

科目	R7当初予算	R7決算額	増 減	増減理由
■ 子どもの学習・生活習慣定着推進事業費	380,000	249,105	130,895	
子どもの学習・生活習慣定着推進事業 ～ チャレンジスクール事業補助金 ～	380,000	249,105	130,895	実績による残

科目	R7当初予算	R7決算額	増 減	増減理由
■ 市民自主企画事業費	229,000	45,152	183,848	
マイプラン・マイスタディ	229,000	45,152	183,848	実績による残 (予8件→実3件)

科目	R7当初予算	R7決算額	増 減	増減理由
■ 市民総合文化祭事業費	281,000	267,816	13,184	
市民総合文化祭	281,000	267,816	13,184	実績による残

科目	R7当初予算	R7決算額	増 減	増減理由
■ 子ども会育成連絡協議会補助事業費	700,000	550,000	150,000	
士別市子ども会育成連絡協議会補助金	700,000	550,000	150,000	実績による残

科目	R7当初予算	R7決算額	増 減	増減理由
■ 子ども議会開催事業費	187,000	157,209	29,791	
子ども議会	187,000	157,209	29,791	実績による残

科目	R7当初予算	R7決算額	増 減	増減理由
■ こども夢トーク推進事業費	36,000	0	36,000	
こども夢トーク	36,000	0	36,000	実績による残

科目	R7当初予算	R7決算額	増 減	増減理由
■ 中央公民館分館事業	382,500	275,706	106,794	
中士別分館	127,500	72,000	55,500	実績による残
下士別分館	127,500	75,000	52,500	実績による残
武徳分館	127,500	128,706	▲ 1,206	実績による残

資料 4

令和 8 年度 中央公民館分館（武徳・中士別・下士別） 事業計画

月	武徳分館	中士別分館	下士別分館
通年	広報武徳の発行 新生児の祝い	委員会会議 民謡・パークゴルフ講習会	分館だよりの発行 ※不定期
4 月	第 1 回運営委員会 評議委員会		
5 月	公民館分館長・主事会議	公民館分館長・主事会議	公民館分館長・主事会議
6 月			パークゴルフ講習会
7 月	評議委員会		町民パークゴルフ大会
8 月	書道作品作成 町民交流会		下士別神社祭典協力
9 月			
10 月			
11 月	料理講習会		
12 月	料理講習会 第 2 回運営委員会 研修・講習会		しめ縄作り講習会
1 月	冬季町民交流会 講習会		
2 月	スポーツ交流会		
3 月			下士別分館運営審議委員会

令和 8 年度 士別市中央公民館運営方針

市民一人ひとりが、自己の人格を磨き、楽しく豊かな人生を送ることができるよう、公民館の学習環境を整備し、市民の学習機会の拡充を支援する。

【基本目標】

1. 市民が気軽に集える場所となるように努める。
2. あらゆる世代の学習機会の支援に努める。
3. 市民主体の事業運営に努める。
4. 市民に対して公民館活動の情報を的確に提供するように努める。
5. 市民が安全に学習できるよう、学習環境の整備に努める。
6. 文化団体・サークルの育成、支援に努める。
7. 中央公民館分館の支援に努める。

【職員の心構え】

公民館職員は、

1. 公民館の仕事を好きになること。
2. 市民に心を開き、気楽に交流（対話）できること。
3. 自分から進んで動くことができること。
4. 士別を好きになること。
5. そして何よりも大事なことは、一人の人間として魅力的であること。

【公民館運営】

公民館活動の満足度がより高まることをめざして、「士別市中央公民館運営審議会」と「士別市中央公民館」は、共に協議し、公民館の運営を行う。

1. 学習環境を整備する

市民の誰もが「学びたい」と思ったときに、いつでも自由に学べる場を設置・運営するのは行政の役割であり、公民館はそのための施設である。

また、公民館の運営は、障がいのある方や高齢者など社会参加をするうえで何らかの制約の多い市民に対して、特段の注意を払い運営する必要がある。

2. 人や団体（サークル）の出会いとつながりをつくる

公民館に集い学ぶことは、市民が自由に会うことでもある。

公民館が主催する講座や教室は、講師と参加者個人が一对一の関係に終始することではなく講師と参加者、参加者と職員、参加者同士の意思疎通や意見交換による相互理解をすることにより、公民館に集う市民や異世代の市民の交流も可能となる。

3. 市民の文化活動の拠点

さまざまな世代の市民が、日常生活の中で多様な文化活動を主体的に行っている。

中央公民館でも創作活動や文化活動が行われ、その成果の発表の場としても活用されており、文化活動の拠点としての役割を担う。

中央公民館は、独立した建物を持たないが、市民文化センター内に事務所を置き、職員を配置し、市民のさまざまな文化活動や学習活動が円滑に行われるよう業務を行っている。

4. 中央公民館運営審議会（以下、『公運審』）

公運審は、公民館を支え、発展させていくために大切な任務を負う。公運審委員は、市民の代表として、市民のさまざまな要望やニーズ、さらには地域課題、生活課題等を把握し、それを公民館運営（事業）に反映させるため、公民館職員と情報交換や意見交換を適宜行い、よりよい公民館を実現することが大切である。

そのために公運審委員は、より積極的に公民館と関わりを持つべきである。具体的には、公民館事業との関わりであり、次年度事業の計画・立案の段階から話し合いに加わるのが肝要である。

こうした議論の場が継続され、議論が活発化されることの前提条件としては、日常的に各委員ができるだけ多くの事業に関わりを持ち、市民の生の声を聴取し、計画立案に反映することにより、市民の求める事業展開が可能となる。

5. 公民館における「評価」

公民館の評価の目的は、よりよい公民館運営を行うことであり、公民館の評価は数値目標だけで測るべきでなく、事業内容や参加者の意識の深まり、学習成果が重要であり、単に参加者数のみで評価を行うのは意味がなく、講座等の受講者にとって有意義かつ納得・満足のできる事業につながるような評価が重要である。

また、公民館事業は「市民が主体」であり、市民の視点で事業を推進することが最も大切であることから、事業終了後のアンケートで、内容、状況、結果の検証等を実施することが必要である。その際には、目的や方法を共有するなど、創意・工夫が必要である。

【士別市中央公民館の事業】

1. 生涯学習推進事業

- ・公民館講座　・士別ふるさと体験広場「文化体験コース」
- ・学び舎「つくも」　・チャレンジスクール

2. 市民総合文化祭事業

- ・中央地区市民総合文化祭

3. 子どもまちづくり参画事業

- ・子ども議会～チャレンジ応援事業～　・こども夢トーク

4. 団体育成・支援事業

- ・子ども会育成連絡協議会補助事業

5. 中央公民館分館事業

- ・中士別分館、下士別分館、武徳分館個別事業